

## 研修カリキュラム

研修分野	保健衛生・安全対策		提案者名	株式会社保育のデザイン研究所			
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健衛生に関する理解を深め、適切に保健計画の作成と活用ができる力を養う。</li> <li>・安全対策に関する理解を深め、適切な対策を講じることができる力を養う。</li> <li>・他の保育士等に保健衛生・安全対策に関する適切な助言及び指導ができるよう、実践的な能力を身に付ける。</li> </ul>						
研修区分	具体的な研修内容		国のガイドライン における該当内容	研修時間 研修テーマ 全体の時間数	講師	研修形態	使用教材
保健計画の作成と活用	保健計画を立て活用するには、子どもの生活習慣の現状や健康の課題、各年齢の発達の特徴等を理解しておくことが大切であることを分かりやすく解説している。又、身体計測の正しいやり方や、慢性疾患児等への対応の具体的なヒント等を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの保健とは</li> <li>・現代社会における子どもの生活習慣の現状</li> <li>・子どもの発育・発達を理解</li> <li>・保健活動の記録と評価</li> <li>・個別的な配慮を必要とする子どもへの対応</li> <li>・保健計画の作成</li> </ul>	・保健計画の作成と活用	2時間38分48秒	現職名 東京家政大学 准教授  氏名 細井 香	講義＋演習 (eラーニン グ)+報告書	講師作成オリジナル教材 (別添)
保育所における感染症対策ガイドライン1	感染症を正しく理解し、対処していくために、感染症の基礎知識、予防接種、施設の消毒や衛生管理等について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症に対する基本的事項</li> <li>・感染症の予防1「感染源・感染経路別対策」</li> <li>・感染症の予防2「感受性対策」</li> <li>・感染症の予防3「衛生管理と室内環境の整備」</li> </ul>	・保育所における感染症対策ガイドライン	1時間45分38秒	現職名 東京家政大学 准教授  氏名 細井 香	講義＋演習 (eラーニン グ)+報告書	講師作成オリジナル教材
保育所における感染症対策ガイドライン2	感染症が発生した際、もしくはその疑いがあるときこそ、私たちの冷静な対応が求められる。熱、下痢等よく見られる症状への対応や感染発生から終息までの記録、他機関との連携等について解説している。又、ウイルス性肝炎の子どもの保育についても学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の疑い時、発生時の対応1「感染症の疑いのある子どもへの対応1・2」</li> <li>・感染症の疑い時、発生時の対応2「感染症発生時の対応」</li> <li>・感染症対策の実施体制</li> <li>・保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所における感染症対策ガイドライン</li> <li>・保育の場において血液を介して感染する病気を防止するためのガイドライン</li> </ul>	2時間39分31秒	現職名 東京家政大学 准教授  氏名 細井 香	講義＋演習 (eラーニン グ)+報告書	講師作成オリジナル教材
事故防止及び安全管理1	事故事例の原因を分析するワークで、職員全員が同じ意識で取り組み、対策を考える事の大切さを学ぶ。事故が起きた時に社会から求められる責任や、保育のリスク(事故やケガ等)とリターン(子どもの育ちや学び等)の把握や分析についても解説している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組</li> <li>・職員の責任1</li> <li>・職員の責任2</li> <li>・リスクとリターン1</li> <li>・リスクとリターン2</li> <li>・危機管理で大切なものは意識</li> </ul>	・事故防止及び健康安全管理	2時間42分44秒	現職名 株式会社アイギス 代表取締役  氏名 脇 貴志	講義＋演習 (eラーニン グ)+報告書	講師作成オリジナル教材
教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン	安全の定義、重大事故の定義を再確認し、ガイドラインを基に睡眠中、食事中、プール・水遊びの事故防止について学ぶ。自園で重大事故を起こさない為に大切にすべきことは何か…ワークや設問を通して深く考えさせられる構成となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度と保育事故</li> <li>・新制度と安全の根拠</li> <li>・重要事項説明</li> <li>・ガイドライン1</li> <li>・ガイドライン2</li> <li>・ガイドライン3</li> <li>・ガイドライン4</li> <li>・事故分析レポート</li> <li>・ヒヤリハットの法則</li> <li>・コミュニケーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故防止及び健康安全管理</li> <li>・教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン</li> </ul>	4時間15分39秒	現職名 株式会社アイギス 代表取締役  氏名 脇 貴志	講義＋演習 (eラーニン グ)+報告書	講師作成オリジナル教材
事故防止及び安全管理2	自園の子どもと職員を守るために、災害対策の現状を学ぶ。又、備蓄リストを作るワークを通して、被災後にどんな保育を行うか、何が必要か等を想像して災害に備える視点を解説。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進化する災害対策</li> <li>・災害後の対策</li> </ul>	・事故防止及び健康安全管理	1時間05分55秒	現職名 株式会社アイギス 代表取締役  氏名 脇 貴志	講義＋演習 (eラーニン グ)+報告書	講師作成オリジナル教材
				15時間08分15秒			